

全国学力・学習状況調査の結果について

(令和3年度版)

大阪府教育委員会

令和3年度全国学力・学習状況調査は、令和3年5月27日(木)に、小学校6年、中学校3年の子どもたちを対象として国語、算数・数学の2科目で教科に関する調査、学習状況について質問紙調査が行われました。

教科に関する調査の結果から

◆今年度の平均正答率◆

※全国の平均正答率を1としたときの大阪市の割合を「対全国比」として表しています。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症にかかる状況及び学校教育への影響等を考慮し、実施されていません。

	R1			R3		
	大阪市	全国	対全国比	大阪市	全国	対全国比
小学校 国語	58	63.8	<u>0.91</u>	63	64.7	<u>0.97</u>
小学校 算数	65	66.6	<u>0.98</u>	69	70.2	<u>0.98</u>
中学校 国語	70	72.8	<u>0.96</u>	61	64.6	<u>0.94</u>
中学校 数学	57	59.8	<u>0.95</u>	55	57.2	<u>0.96</u>

全体的に改善傾向であり、平均正答率の対全国比について、とりわけ小学校国語においては、令和元年度と比べて大きく伸びが見られました。

しかし、全ての教科において全国との差があり、引き続き改善に向けて取組を進めていく必要があります。

◆今年度の問題より(一部抜粋)◆

中学校国語 大問1設問三「話し合いをする【地域清掃活動】」

(正答率 大阪市50.0% 全国57.1% 全国との差7.1ポイント)

正答例 ※条件1と条件2のどちらも満たした文章になっています。

A 本田さんが、次の発言者として石川さんを指名する発言をすればよい。なぜなら、山下さんの質問に石川さんが答える前に、大野さんが別の質問をしたからだ。

B 石川さんは山下さんの質問にまだ答えていないので、石川さんが、その質問に対する答えとなる地域の方との清掃活動の手順について発言すればよい。

誤答例 ※条件2の理由が書かれていません。

A 「大野さん、原則として、一つの質問に対する答えが終わってから、次の質問をするようにしてください。」と発言する。

西中学校の大野さんの発言⑥のあとで、参加者の一人が発言します。あなたは、誰がどのようなことについて発言するとよいと考えますか。また、そのように考えたのはなぜですか。本田さん、石川さん、山下さんの中から一人を選び、次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1 【話し合いの一部】の①から⑥までのやりとりを踏まえ、どのようなことについて発言すればよいのか書くこと。

条件2 条件1のように考えた理由を具体的に書くこと。

【話し合いの一部】

① 各校の取り組みについて、質疑応答に入ります。今日は、原則として、一つの質問に対する答えが終わってから、次の質問をするようにしてください。地域清掃活動を活性化させるために、他校に聞きたいことはありますか。

第一中学校 本田さん(司会)

② 第一中学校に質問があります。担当する清掃場所を細かく分ける取り組みに興味をもったのですが、その取り組みで清掃活動はどのように活性化したのですか。

青空中学校 山下さん

③ 第一中学校では、清掃場所を細かく分け、担当する場所を自分たちで決めることによって、一人一人が責任をもって活動するようになりました。また、本校は地域の方と合同で清掃活動を行っているのですが、そのための事前打ち合わせに、昨年度は担当場所の代表も参加しました。その結果、地域の方と一緒協力して取り組むことができるようになりました。

第一中学校 石川さん

④ 一人一人が責任をもって活動するようになったということですね。また、地域の方との打ち合わせに担当場所の代表が参加したことも、活性化につながったということでした。青空中学校の山下さん、よろしいですか。

第一中学校 本田さん(司会)

⑤ はい。ありがとうございます。青空中学校では、生徒だけで清掃活動を行っていますが、今後は地域の方と合同で行うことも検討してみたいと思います。そこで、もう少し質問したいことがあります。第一中学校では、地域の方との合同の清掃活動をどのような手順で進めているのかを、具体的に教えてもらえますか。

青空中学校 山下さん

⑥ 西中学校でも、地域の方との合同の清掃活動を考えていると思います。また、実施回数も見直そうと思うのですが、回数を増やしたことで生徒たちの取り組み方がどう変わったのかを、青空中学校に質問したいです。

西中学校 大野さん

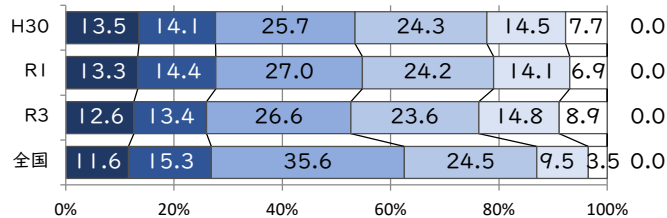


この問題では、話し合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考えることが求められています。実際に、話題や方向を捉えながら話し合うためには、何についてどのような目的で話し合っているのかを考えたり、話し合いの流れの中で、常に話題を意識しながら話したり聞いたりすることが大切です。

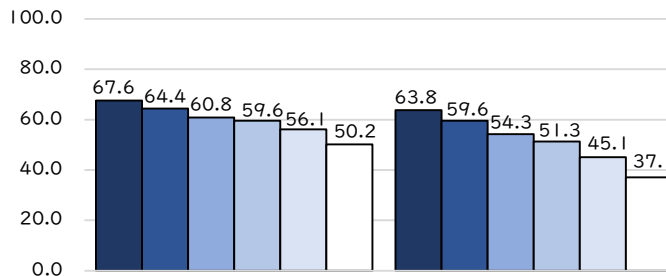
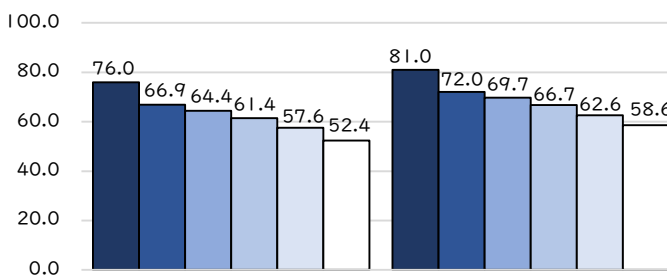
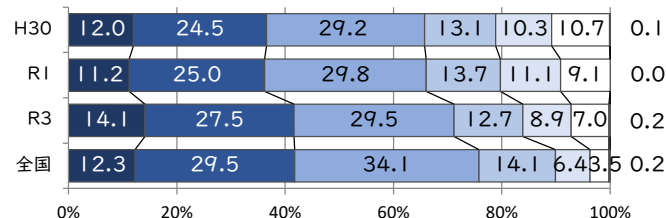
教科の平均正答率と質問紙調査のクロス集計結果

・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

小学校



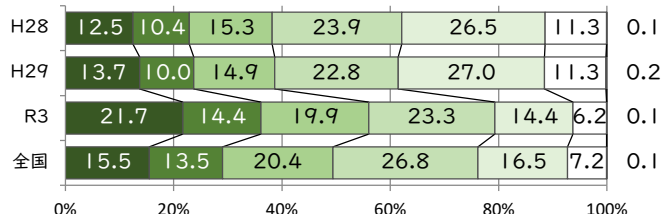
中学校



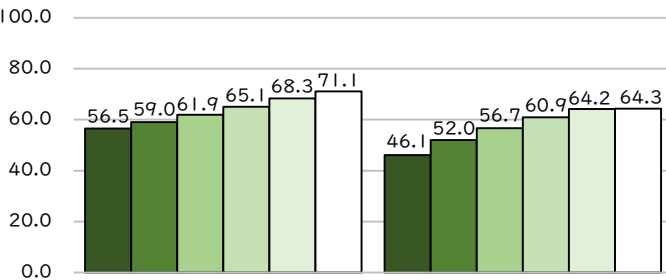
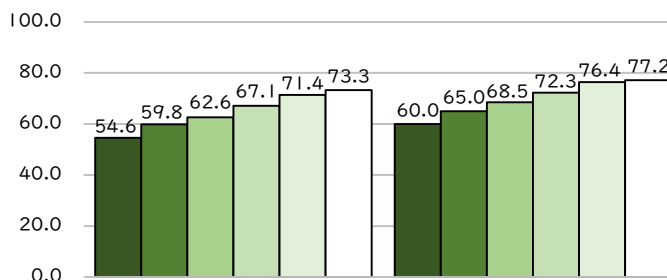
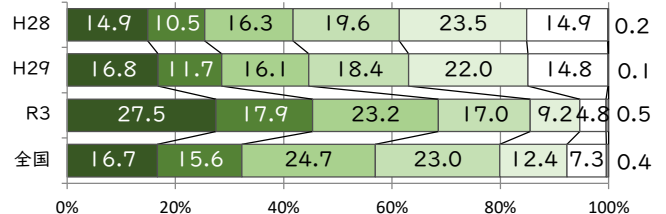
令和元年度と比較すると、中学校では勉強時間が増加傾向にありますが、小学校では減少傾向にあります。授業以外の学習時間が長くなるほど、教科の平均正答率が高い傾向が見られました。

・月曜日から金曜日、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか

小学校



中学校



平成29年度と比較すると、1日当たりのテレビゲームをしている時間は、小中学校ともに大きく増加しております。テレビゲームをする時間が短くなるほど、教科の平均正答率が高い傾向が見られました。

※令和元年度、平成30年度の調査では、当該の質問項目がありませんでした。

ご家庭でのご協力をよろしくお願いします！



授業以外の学習時間やテレビゲームをする時間と、教科の平均正答率の間には関係があります。確かな学力を身に付けるには、テレビゲームをする時間を見直したり、自主的な学習を計画したりするなど、授業時間以外の学習習慣を定着させることが大切です。家で過ごす時間が増えている中、ご家庭での過ごし方について、今一度お子さまと話し合ってみてください。